

2012年3月

東北コミュニティの未来・志縁プロジェクト

連絡先：事務局長 住本 勉

cbnkw471@ybb.ne.jp

(080-6730-2106 080-2339-0258)

南相馬市から避難されているお母さんへのアンケート回答データ

回答のデータを項目別にまとめた。

◆1：南相馬市（ ）区から避難してきている

()

◆2：避難先（現在の居住地） 福島県内（ ）市 県外（ ）県

◆3：家族構成 ①0歳～就学前（人）（人）

②小学生（人） ③中学生（人）

夫と—同居 別居（夫；（ ）県（市））

（人） 夫と—同居

◆4：南相馬の自宅は

（ ）ある—家族が住んでいる（親、夫、他）

（ ）ある—誰も住んでいない ない—地震・津波被害等

◆5：生計（ ）夫は働いている

（ ）妻は働いている

・無職のため貯金を崩し生活している

◆6：避難先での交流

①避難者同士の交流 ある ない

②受入れ先住民との交流 ある ない

◆7：避難している理由

・自宅が警戒区域の為住めない

放射能の影響

- ・放射能の影響

- ★子供の将来の健康に不安があるから

- ★避難先で仕事をみつけたから

- ★除染がすすまない

他（仕事、等）

- ・放射能の影響

一番は子供の事を思って後で後悔したくないから。子供は、状況を理解して自分で決める事がまだ出来ないのです。

たった一度の人生だから、守れるものは守りたい。

他（仕事、等）

- ・○放射能の影響

- ・放射能の影響と仕事

- ・○放射能の影響

- ・・放射能の影響

- ・放射能（ホットスポット）

- ・○放射能の影響

- ・放射能の影響

- ・放射能の影響、自宅が津波被害により流失したため

- ・○放射能の影響

- ・放射能の影響

他（仕事、等）

津波で自宅が流出。いまだ、永住先が決まっていないため。

- ・放射能の影響

警戒区域に自宅がある。

- ・放射能の影響

警戒区域に自宅がある。

- ・家が津波で無くなった。旦那は震災で仕事を失い、自分も昨年11月に出産したばかりで働けない。こちらで就職先を探しているため。

- ・放射能の影響

井戸水調査の結果もまだ、来ていない。幼児の健康が心配。

除染もまだしていない。除染しても1~2カ月後に数値が元の数値に近い数字が出たと聞いた。

学校の除染が一度だけしかしていないので心配。

何年後に子供が健康被害にあっても東電は、絶対保障しない。

子供達をモルモットみたいに研究材料にしている国、南相馬市長が怖い。

- ・ 子供の放射能の影響を心配して
- ・ 放射能の影響
- ・ 放射線影響が第一、次に解雇になった後、仕事を探していたが就業先もなかった為
- ・ 2点— 放射能の影響、 受験を控えているので子供の学校（高校、中学）を変えたくない。
- ・ 放射能の影響
- ・ 放射能の影響
- ・ 放射能の影響
- ・ 放射能の影響
- ・ 放射能の影響
- ・ 放射能の影響

◆ 8：避難生活で困っていることは（二点まで）

- ・ ★雪 ★福島の情報に乏しい
月に二回送られてくる広報だけでは現在の南相馬の状況がわからない
- ・ ストレスがたまる
- ・ ①物資提供がない ②被災者への情報がない
- ・ 原町の家が心配、夫の通勤が長距離になってしまって大変
- ・ 子供達の反抗期 金銭面（補償金はローン返済）
- ・ 友達がいない。
- ・ すぐに自分の家族（親）や友達に会えない
- ・ 学校の手続き（卒業、行事連絡ほか）
- ・ 手続き、検査、説明・相談会などが南相馬市で開催される事が多く、行きたくても日時等の調整がつけづらい。
- ・ 住民票を残したままでの避難は、行政手続きが煩雑だ・被ばくなどの検査ができない。
- ・ 住所を移さない限り、福島市で一番最初に避難転学した学校にしか通えない事が分かり、今後も住むところ、仕事先を決めるのにネックとなりそう。
- ・ 夫と別居
- ・ 経済的に大変、補償がない。知り合いもいないのでうつになりそう。
- ・ 子供達と父親が離れ離れで、お互いが寂しい思いをしている。・ 二重生活で経済的に苦し

い。

- ・ ①今現在、下の年長の子がいて働けない（宮城県〇市にいますが、〇市は住民票を移さないと市立の幼稚園に入れない為） ②来年小学校に上がるから働けるかと思っ
ていましたが、〇市では今現在就業していないと、児童センターは受け入れ不可、年度中途で入所不可なので、来年度まで入れない
- ・ 不安を抱えたままでは仕事を探す意欲がわからない。南相馬との往復で留守中の家が心配。
- ・ 家族との団欒があまりない； ・ 女所帯なのでいろいろと不安。（外的要素）
- ・ 冬の大雪 ・ 米沢市では正社員になれる仕事がない。・ 冬の大雪
- ・ 雪かき、雪おろし ・ 仕事ができない（小さい子供が3人いて動けない）
- ・ 小高区のことを何も入ってこないの、南相馬の一部でなく南相馬として取り上げてほしい。 ・ 1年間も家を締切にしておくの家もどうなっているのか。冷蔵庫の処理もどうすればよいのか行政として考えてほしい。
- ・ 生活費が3つでかかる
- ・ 近くに知人等が少ないため、外に出歩くことが少なくなりがち ・ 不慣れな土地のため、各人それぞれだが、精神の不安。

◆ 9：避難による子供への悪影響は ない ある

- ・ 父親や祖父母と離れていることで寂しい思いをしている
★震災より10ヵ月も経つと心も落ち着き大きな影響はないと思う
今まで一緒に生活していた家族と離れてしまったが、避難先でのびのび子供らしく外で元気に遊んでいる
- ・ 事故前の生活が突然絶たれた事(家族、幼稚園)で、精神的に不安定になったが、避難しなくても不安定になっていたと思う。色んな事を制限しなければいけないから。避難して不安定だったが、思いっきり遊べたりする事で穏和されたと思う
- ・ 今のところない
- ・ ある〔家族がはなればなれで・・・〕
- ・ 【悪】影響とは？無回答とさせていただきます。
- ・ 避難当初はあったが、今は落ち着いている。
- ・ ある H23年3月15日に原発事故のため福島市へ避難したが、結果的には線量が高い所に避難した形になったので被ばく低線量を心がける。
- ・ 悪影響は わからない 普段は元気にしているがこんなことなれば、福島にいれたのにとよく話す

- ・ない　こちらも被災地なので、お友達も親御さんもみんな親身です。活動制限もなく、教育も充実しています
- ・大いにある
- ・わからない
- ・ある— 保育園に行けなく、祖父母がいないから、ストレスがたまって、怒って、けんかが多い。
- ・ある— 子供としては家族全員で住みたい、寂しい

◆ 10：南相馬に帰る意思

- ・条件が整えば帰る
理由/条件：
仕事：食品を扱う仕事だったので風評被害がなくなり以前の収入が見込まれるようになること
家：家のまわりが避難先くらいの線量になる
教育：臨時の再開ではなく、時間を気にせず野外活動したり、家庭で気を付けている以上に給食や水が安心できること
- ・子供が成人するまでは帰らない気持ちでいる
条件が整えば帰る
理由/条件：原発事故前の生活ができるなら。
放射能 除染の実施— 除染後のレベル（事故前と同じレベルまで戻して）
- ・除染の時期（～までやってなんて出来る訳ない。そんな簡単じゃないと思います。そんなに簡単な事であればとっくに進んでると思う。とにかく、ちゃんとしたやり方で、全てきれいにしてほしい。）
- ・帰りたいがいつ帰れるかわからない
仕事：避難先で探す予定
教育：避難先の幼稚園
- ・こども達にとって普通の（震災前のような）生活ができる状況になれば帰りたいと思っている
家：完璧に除染してほしい
教育：今までのように外でのびのび運動をできるようになってほしい。将来の就職に支障がおきないように、他県と差がつかないように学習に集中できる環境になってほしい。

- ・条件が整えば帰る 理由/条件： 除せんが完全に終わり安全になったら帰りたい
帰る時期を決めている（・だいたい【2】年後）
- ・帰らない 条件が整えば帰る
- ・条件が整えば帰る 理由/条件：放射能が完璧になくなる

- ・条件が整えば帰る
理由/条件： 放射能 除染の実施—・除染後のレベル（事故前と変わらないレベル）
- ・条件が整えば帰る
理由/条件：自宅購入のメドが立てられれば帰る事を検討する。
津波被害による土地（農地、宅地、集団移転等）清算できない状況。
メドが立つ頃は、きっと子供も自立する年齢なので夫婦のみ帰る可能性
が
大きい。
- ・帰らない
- ・条件が整えば帰る 理由/条件：警戒区域ほか新区域が解除されて除染、ライフライン
が整えば。
- ・条件が整えば帰る
理由/条件：警戒区域が解除されれば帰りたい。
放射能 除染の実施—・除染後のレベル（
家：津波でほぼ住めなくなっている。市内で3LDK ぐらいのアパートもしくは貸家
教育：避難した子供と避難しない子供で勉強の進み具合、内容に差があると聞いている。
対応があればうれしい。

- ・どちらでもない。検討中。
- ・わからない
- ・帰る時期を決めている 【1】年後
理由/条件：【子供が中学生になるから。借上げ期間を終える事で、金銭的にも難しい
から。】
放射能 除染の実施—・除染後のレベル（
【・自宅の部屋の絨毯、カーテンを替え、掃除をしたり出来る範囲の除染はやりまし
たが、線量はかわらなかった。
部屋の中で1、0 μ SV あります。】
除染の時期
【年末にやりました。個人の家や通学路なども早急に専門家の指導のもとに進めて頂き
たい。】
仕事：【震災前はしていたが、今はしていない。探してはいるが条件的に難しい。】
家：【私の自宅は木造の古い家の為、震災で傾いてます。その時の隙間などから放射線物
質が家の中に入り込んでいると思います。現在、高線量の為、子供達は自宅での生活は
できません。除染をした所で費用ばかりがかさみ、染量は下がらないと思います。子供

達を帰すにあたり、建て直すカリフォームを考えていますが、経済的にもかなりの無理をしての決断になります。このような原発事故がなければ、そのような選択肢はありえませんでした。私達のような人にも、どうか何らかの支援をお願いします。】

教育：【今後、体育の授業や運動会はどのようになるのですか？】

・今のところ帰る予定はない。未定

ただ、将来的に教育の充実、限りなく震災前に線量が近くなれば、考える。

除せんも、学校を除せんしたからと言って安心は出来ない。通学圏も含め、市内全体をいち早く除せんしてほしい。

就業先もなく、教育環境も整っていない等、帰りたくても今後の不安が多い。

・【 2 】年後に帰る

理由/条件：除染の実施、仕事、家、教育— すべて。原発事故の収束（本当の）までは安心できない。

・条件が整えば帰る

理由/条件：道路（一般道及び高速道）や鉄道が中央（東京方面）と繋がっていること。

放射能 除染の実施— 除染後のレベル（家庭菜園などの野菜が問題なく食べられるレベル）

・除染については、今のやり方で本当に除染できるのか疑問。

いまやっていることは、洗浄・拡散ではないか？

仕事：避難していた時間にも自分は年をとっていく。

戻った時、この年齢でも採用してくれる企業はあるのでしょうか？

教育：避難している子供が多いので、学校の児童・生徒数も減っているためか、学習塾や進学塾もいまはやっているところが少なく、学力の低下が心配。

・帰らない)

・条件が整えば帰る— 放射能

・帰らない) — 除染しても完全に放射能はなくなる

・条件が整えば帰る； 放射能—除染の実施、仕事

・帰らない

・帰らない

◆ 1 1：政府、福島県、南相馬市への要望

・ ★南相馬が安全で線量も問題ない、原発事故は収束した、というなら政府の方々、東電役員の方々、大切な家族と

一緒に南相馬で生活して下さい

身をもって証明してください

あなた方がそうすることで避難しているお母さん達は自宅に戻ります

住民は毎日不安のなか仕方なく生活してます

病院、学校、生活に必要なものがどれだけ不十分であるか…

健康に問題ないという線量のレベルで万一問題があった場合、認めないのが政府です
国民の為に、といつもいうが自分の地位と名誉の為に…といっているようにしか聞こえま
せん

・全てありのままの事を公表してほしい。私達の事を思っの事をしてほしい。市民が戻
って来ないと市として成り立

たないというのは、今だけの事しかみてないのでは。今の子供が社会人になった時の事と
かまで考えて、今何をした

らいいのかを考えてほしい。

原発事故の対策本部を一番近い所にもってきてください。

『大丈夫です。戻ってきて下さい』というなら、東電本社の社員、その家族みんな一緒に
住んで下さい。東電本社も

福島県に移転して下さい。『不安に思う事はない』と言えるなら出来るはず

・原発等の情報を隠さずに教えてほしい

・復興するには時間がかかると思います…しかし、諦めずに少しずつでも良くなるように
前進し続けてください。

・除せんを早くしてほしい。正確な情報を流してほしい。

・真実 戻れる確証

・子供が不便しないように、事故前と変わらない生活が送れるようにしてください。

・隠し事なく、正直にすべてを話してほしい。

・ 県外に避難した人へも情報提供を続けてほしい。

>> 被ばくの影響は何十年先に出るかわからないので、
移転してもきちんと健康調査を継続できる体制を
整えてほしい。

・きちんと放射線量が高い所を発表してほしい。

水、食べ物に対してもきちんとしてほしい。

・避難して他県にいても検査はしてほしい

なにかあれば責任をとってほしい

原発のニュースがほとんどやらないので、今のことがわからない

特に西日本では福島のことを情報として入ってこない

・【嘘偽りのない情報の迅速な公開。今後も、福島県民の健康調査・癌や白血病の発病者への医療費用免除。

迅速な除染。個人ではなく市・県・国で行って欲しい。】

・線量だけでなく、教育環境的なものも含め、子供の将来を考え、自分たちは帰らないかも知れないが、夫は自営業なので地元に残っています。住民が減少したので仕事も減り、細々とですが頑張っています。

夫は大きな会社が撤退する中、今頑張れるのは自分たち地元の者だという志で頑張っています。

車の整備や車検などの仕事をしてはいますが、残っている地元の方が困らないように、ギリギリ最後まで頑張ると言っています。

これ以上の転出が続かないように、いち早く市内全体の除せん、街の復興、企業誘致等による就業先の確保に力を入れてほしいと願っています。

また、夫だけでなく、地元に残っている方々は本当に大変な思いをしながら、仕事を続けていると思います。

地元に残っている人こそ、精神的苦痛が大きいのに、なぜ避難者だけが補償が貰えるのか疑問に思っています。

残って頑張っている方々にも、何かしらの補償はないのかと思います。

また子供の送り迎えの為に、働きたくても働けない方々もいると聞いています。

避難していても、いつも地元を思う。

物一つ買うのにも、こうしてここでお金を使っているうちに、地元の店舗、商店は衰退してしまうのだろうなといつもいつも思う。

避難していても、地元に残っていても、今の現状で受ける精神的苦痛は、何ら差はないと思います。

いつか地元に戻った時に、補償を貰っていた側と貰えなかった側の壁が出来るのではないかと心配している方もいます。

同じ市民、同じように補償してほしい。

切に願っています。

・ 今回の降下物といい情報を隠しすぎる。

正しい情報をそして避難をしたい人に支援を、残りたい人には内部被ばくへの考慮を。

・ 昨年の震災以来何度も裏切られているので、期待するだけ無駄かもしれないと思っている。原発の被害は、南相馬市は全くのとばっちりだと思っています。現在4△歳の私が子供の頃から周りの大人は、原発を反対していました。福島県も双葉郡の原発立地自治体も私たち（旧原町市）の意見など聞く耳を持たず、自分たちだけの利益を貪ってきました。

県が貰った原発交付金などの金額と使途を国民に公開してほしいです。そのほとんどが、会津地区や郡山市や双葉郡の為の使われ、私たち相馬郡の人たちにはほとんど還元されていなかったように思います。被害だけを被ったと思っています。

また、常磐道（高速）も原発稼働前に開通させていざという時の避難道として考えておくべき責任も、国や県にはあったと思います。いま、原発で避難しているのは、双葉郡の人たちだけではありません。双葉郡の避難者を優先しているような支援を大変不満に思っています。（特に福島県に対して）

南相馬市へ

子供たちが、震災であたふたと避難して、遠くの県に避難した子供はそれまでの学校の友達と会うことができません。卒業などの節目の子供たちは学年全体で会う機会があったかもしれませんが、娘は当時中学1年生でした。携帯電話を持っている子供はあまりいない年齢です。今は、学校がばらばらになってしまっていますが、原町での友達が一番大切にしています。当時の学校全体、又は学年全体で会う機会を設けていただきたいと思っています。学校は南相馬の学校に在籍していませんが、住民票は移してないので、南相馬市民です。

- ・ 子供の学校を県外へ
- ・ 水の調査が心配
- ・ すべて早めにしてほしい、なにごと遅い。
- ・ 今までの生活に戻してほしい。住んでいた人たちのことを考えてほしい。
- ・ 他県が一所懸命対応してくれる中で、南相馬相馬市長は我先にと逃げまどう等、自分は考えられない。
- ・ 20K 圏内の除染をして必ず帰れる保証はないと思います。原発の収束を優先とし、収束を確認した上で除染をすべきだと、考えます。

◆ 12 : 受け入れ先地元行政についてご意見 あれば

- ・ ★他県の借上げ住宅は最長2年となっているようですが、山形は1年となっています
仕事や学校などの事情を考慮し希望者には延長の検討をお願いいたします
- ・ とてもよくしてもらってるので、今は特に思いつかないです
- ・ もう少し(避難者の)気持ちを察してほしい
- ・ 特にない
- ・ 様々な支援をしていただき感謝している。
- ・ 特になし
- ・ 受け入れ先の県により対応が様々で
静岡は情報が国や県からうまく伝わっていなかったことが多く市役所でも対応にとまどることが多かった
どこに相談すればいいかわからないことが沢山あった

・【とても良くして頂いて本当に感謝してます。】

・住所を移してなくとも、子育て支援などを受けられるようにしてほしい（一時保育や、市立幼稚園入所）

・よく情報物を送ってくださり、民生委員の方もうかがってくれているそうです。

避難先でも心細くないように支援して下さりありがとうございます。

ただ、それがすべてに細部にわたっていないのが残念です。

・大変良くしていただいているので、感謝の気持ちでいっぱいです。

・仕事をください

・よくしていただいておりますので、申し訳ないくらいです。

・山形の人々にはよくしていただきました。

・受け入れ先の行政にはとてもお世話になり、とても感謝しております。

◆13：その他（以上で述べきれないことがございましたら、何なりと）

・国、県、市全て信じられません。

・この先、南相馬市に本当に住めるのか疑問

本当は、住める状態ではないのに、事実を知ったらパニックを起こすから、明らかにできないのではないか？と思っ

てしまう

・はっきり言って、何がよくて何がダメなのか（避難してよかったのか…避難しなくてもよかったのか…。子ども達にとって今の避難はプラスなのか…。など…）気持ちが定まらなくなってきました。

地震だけだったらこんな事にはならなかったのに…。この先どうしようか…。まだまだ不安です。

・二歳になる子供が生活しても何の心配のない以前に戻るなら、帰れるなら帰りたい。

田畑も安心して農作物がつかれるようにしてほしい。

井戸水も市水も安全かどうか、真実の数値が知りたい。

無理なら家山田畑全部買いとって欲しい。

・前向きに歩いていくにも、国、市の行政がしっかりと嘘をつかずに市民の為、子供の為に取り組んでくれなければ前には進めません。本当に本当にしっかりとってください。

・もう、南相馬に帰る気持ちはありません。

何年後って長い月日が放射線量に対しても風化します。

子供たちに何か出てからでは、もう遅いと思います。

国と市の対応に不信感が消えません。

あの日、どんな思いで避難し家族がバラバラになったか・・・

子供達を守る為です。

『直ちに健康への被害はありません』この言葉を何度聞いたか・・・

『直ちに』と言ったのなら、『いつかは』健康被害になると言うことですよ。

国を市を許せません。

・ご協力いただきありがとうございます。

>こちらこそ・このような発言が出来る場を設けて頂き、本当に有り難うございました。

以上。